

ネブラーゼ ディオ

【警告】

1. 薬液の種類、用量、用法については、必ず医師の指導に従う。
[症状が悪化する恐れがあります。]
2. 使用後は、薬液カップ、メッシュモジュール、キャップ、マウスピース、マスクは洗浄する。
洗浄したパーツは、必ずすみやかに乾燥させた上、再汚染がないように保管する。
[雑菌が繁殖し、感染する恐れがあります。]
3. 故障が疑われる場合は使用しない。
使用前に亀裂、破損等の異常がないかを充分確認し、本品の使用中に異常が発生した場合は、すぐに使用を中止する。
4. 自動呼吸装置を本品に接続しない。
[自動呼吸装置からの圧力等により、自動呼吸装置がエラーとなる恐れがあります。
また、人工呼吸器（麻酔器に組み込まれたものを含む）の呼吸回路呼吸器側にフィルターを装着して本品を使用するとフィルターが目詰まりをおこして患者が呼吸困難をおこす可能性があります。]
5. 複数の人が使用する場合は、必ず使用する人ごとに薬液カップ、メッシュモジュール、キャップ、マウスピース、マスクを使用する。
[感染する恐れがあります。]
6. マスク使用中は患者の状態や接続状態を常に監視してマスクの異常、外れや閉塞等の危険がないことを確認する。
[死亡事故や重傷事故を招く恐れがあります。]
7. 使用中に気分が悪くなった場合はすぐに使用を中止する。
[症状悪化の原因になります。]
8. 乳幼児やお子様だけで使用させない。
[マウスピース、マスクにより閉塞等が誘発されて死亡事故や重傷事故につながる恐れがあります。
また本品を破損したり、けがの原因となります。]
9. 乳幼児やお子様の手が届くところに置かない。
[本品を破損したり、けがの原因となります。
またキャップなど小さな部品を飲み込む恐れがあります。
万一、飲み込んだ場合はただちに医師にご相談ください。]

【禁忌・禁止】

1. 純水や蒸留水などを用いて吸入はしない。
[症状が悪化する恐れがあります。]
2. 分解や修理、改造をしない。
リチウムイオン電池（内蔵）の交換はできません。
[感電や漏電、火災、けがの原因となります。]
3. 本品を加熱したり火中に投入しない。
[破裂による火災、怪我の恐れがあります。]
4. 本品を可燃性の高いガスの発生する場所で使用しない。
[引火、爆発の原因になります。]
5. 本品や AC アダプタを濡れた手で扱ったり、水で濡らさない。
[感電の恐れがあります。]
6. 本体や AC アダプタ、薬液カップを落としたり、強い衝撃を加えたりしない。
[破損して使用できなくなったり、感電の原因となります。]
7. 本品を直射日光の当たる場所、炎天下の密閉された車内やストーブの近く、高温多湿の場所で使用、放置しない。
[内蔵電池の発熱、破裂などによる火災、やけど、怪我の恐れがあります。]
8. 薬液カップが空の状態で作動させない。
[発熱や故障の原因になります。]

【形状・構造及び原理等】

1. 主要部の形状と名称



2. 仕様

< 本体に薬液カップ、メッシュモジュールを装着した状態 >
寸法：約 47(幅)× 約 99(高さ)× 約 68(奥行き) mm
質量：約 102 g

3. 電氣的定格

- ・定格電源：DC3.7V (リチウムイオン電池)
- ・消費電力：約 3W 以下
- ・電撃に対する保護の形式
リチウムイオン電池使用時：内部電源機器
- ・電撃に対する保護の程度：BF 形装着部
- ・水の有害な侵入に対する保護の程度：IP22

4. 原材料

- ・本体
 - ケース：ABS
 - ボタン：ABS / ポリカーボネート / ポリウレタン
 - USB 端子カバー：ポリ塩化ビニル
- ・薬液カップ：ポリカーボネート
- ・メッシュモジュール
 - ケース：ABS / ポリカーボネート
 - メッシュ：メタル / セラミック
- ・マスク：ポリ塩化ビニル (大人用、小児用)
- ・マウスピース：ポリプロピレン

5. 動作原理

本体内部の発振回路により発生した超音波信号がメッシュモジュール内部にある振動子（メッシュ）を機械的に振動させる。この機械的振動により、薬液が霧状になりメッシュモジュールから外部に噴霧され、患者に供給される。

【使用目的又は効果】

本品は患者に吸入させるため、エアロゾル化した薬液を供給する装置である。

取扱説明書を必ずご参照ください

取扱説明書を必ずご参照ください

【使用方法等】

ご使用の前に取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

1. 準備

＜内蔵電池を充電する＞

- (1) 付属の microUSB ケーブルで本品と USB AC アダプターを接続する。
※ USB AC アダプターは同梱していません。別途ご用意ください。
USB AC アダプター (出力 :DC5.0V、1.0A)
- (2) AC アダプターの AC プラグを家庭用コンセントに差し込む。
充電中は青色 LED が点滅し、充電が完了すると点灯に変わる。
- (3) 充電が完了したら、ケーブルを本品から取り外し、AC アダプターをコンセントから抜く。

※ お買い上げ時は、内蔵電池は十分に充電されていません。
少なくとも 30 分間充電してからお使いください。

＜薬液を入れる＞

- (1) メッシュモジュールを取付けた薬液カップを本体に取り付ける。
- (2) 薬液カップの蓋の背面の留め具を外して蓋を開ける。
- (3) 薬液を入れる。
薬液カップに注入できる薬液の量は最大 8ml です。
薬液カップに刻印されている“ 8ml Max” の線より上まで薬液を入れないでください。
- (4) 薬液カップの蓋を開め、ロックをする。
必ず蓋がロックされていることを確認してください。
蓋がロックされていないと薬液が漏れます。

2. 吸入のしかた

- (1) 口から吸入する場合はマウスピースを使用する。
①メッシュモジュールの薬液噴霧口のキャップを外す。
②薬液噴霧口にマウスピースを取り付ける。
③本体を手に持ち、マウスピースを口にくわえ軽く唇を閉じる。
- (2) 鼻と口から吸入する場合はマスクを使用する。
①メッシュモジュールの薬液噴霧口のキャップを外す。
②患者に適したサイズのマスクを選択し、薬液噴霧口に取り付ける。
③患者の鼻と口を覆うようにマスクを密着させストラップを後頭部にかけて固定する。
- (3) 電源 / 噴霧ボタンを押す。
電源 LED(緑色) が点灯し、薬液が噴霧される。
- (4) 本体を手に持ち楽な姿勢で吸入する。
- (5) 吸入が終わったら、電源 / 噴霧ボタンを押して電源を切る。

【使用上の注意】

1. 取扱いを間違えると不具合を生じることがあるので、取扱説明書に記載されている内容を守って使用する。
2. 本品が濡れている時や湿気の多い場所では絶対に使用や充電をしない。
[感電の危険があります。]
3. 使用中や充電中に異臭を発したり、異常な発熱に気づいたら使用や充電をやめる。
[破裂による火災、怪我の恐れがあります。]
4. 高粘度や揮発性の薬剤を使用しない。
[振動子（メッシュ）の寿命が短くなります。]
5. 本体や AC アダプタに薬液をこぼさないようにする。
こぼした場合は、すみやかに柔らかい布などで拭き取る。
[濡れたまま使用すると故障や感電の原因となります。]
6. 使用後、薬液カップ内に薬液が残らないよう取扱説明書に従い確実に洗浄する。
7. 薬液カップ内に薬液や蒸留水を入れたまま放置したり、携帯しない。
8. 本体や薬液カップ、メッシュモジュール、キャップ、マウスピース、マスクは煮沸消毒しない。
9. 薬液カップ、メッシュモジュール、キャップ、マウスピース、マスクを洗浄する際は、薬液を使用しない。
[故障や破損の原因となります。]
10. 薬液カップ、メッシュモジュール、キャップ、マウスピース、マスクを消毒する際は、取扱説明書に記載の指定された消毒液以外使用しない。
[破損の原因となります。]
11. 各部品の洗浄、消毒後は十分に乾燥させてから組み立てる。
12. 薬液カップ内をティッシュなどで拭かない。
13. 本体や薬液カップ、メッシュモジュール、キャップ、マウスピース、マスクは電子レンジ内で乾燥したり、煮沸しない。
14. 本体や AC アダプタを水やお湯などで丸洗いしたり、水に浸したりしない。
[漏電、感電する恐れがあります。故障により使用ができなくなる恐れがあります。]

＜マウスピース、マスク＞

1. 使用中に発疹などが生じた場合には、ただちに使用を中止し、医師の指示に従うこと。
2. 折り曲げたり、ねじったりしない。
[破損や閉塞の原因となります。]
3. 変質、変色した場合には新しく購入して使用する。

＜AC アダプタ＞（別途用意）

1. 指定の AC アダプタ以外は使用しない。
[火災、感電の原因となります。]
2. AC アダプタは必ず AC100V で使用する。
[火災や漏電、感電の原因となります。]
3. AC アダプタの電源プラグを抜き差しする時は、必ず電源プラグを持って行う。
[発火したり、故障や事故の原因となります。]
4. 長期間で使用にならない時は、必ず AC アダプタの電源プラグをコンセントから抜く。
[感電や漏電、火災の原因となります。]
5. AC アダプタを、濡れた手でコンセントに抜き差ししない。
[感電ややけどをする恐れがあります。]

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法
次のような環境に保管する。
温度：－ 10℃ ～＋50℃
湿度：30%RH ～ 80%RH
・洗浄、消毒後、次の使用時まで汚染の恐れのない方法で保管すること。
・メッシュモジュールの薬液噴霧口にキャップをして保管すること。
・水ぬれに注意し、直射日光、高温多湿、ホコリを避けて保管すること。
2. 耐用期間
本体 5 年
25℃の使用環境において 1 日 3 回各 20 分、生理食塩水を噴霧した場合。 [自己認証（自社データ）による]

【保守・点検に係る事項】

- ＜洗浄＞
吸入が終わったら毎回洗浄を行う。 本品を介しての感染症を予防するために、本品を常に清潔に保つこと。
- (1) マウスピース、マスク等を外す。
メッシュモジュールは取り付けたままにする。
 - (2) 薬液カップの蓋を開け、残った薬液を捨てる。
薬液カップに蒸留水を入れ、蓋を閉めて電源 / 噴霧ボタンを押して 2 ～ 3 分間噴霧する。
 - (3) 電源 / 噴霧ボタンを押して停止させ、残った蒸留水を捨てる。

- (4) 薬液カップの留め具を押しながら薬液カップを正面側へ押し出しながら外し、蓋を開けて新しい蒸留水で薬液カップの中を良くすすぐ。
- (5) 洗浄が終わったら、医療用ガーゼで水分を拭き取り十分に乾燥させる。
メッシュモジュール内の振動子 (メッシュ) 部分は綿棒で触ったり、鋭利な物で突いたりしない。)
- (5) 本体や薬液カップの表面が汚れた場合は、水または中性洗剤を浸み込ませた柔らかい布を固く絞って拭き取った後、柔らかい布で乾拭きする。
- (6) マウスピース、マスク、キャップを蒸留水でていねいに洗浄し、医療用ガーゼで拭いて乾燥させる。
- (7) 洗浄、乾燥後は本体、薬液カップ及び付属品を収納ケースに入れて保管する。

＜消毒＞

- 1 週間に一度、または長期間使用していなかった場合に消毒を行う。
- (1) 薬液カップ、メッシュモジュール、マウスピース、マスク、キャップを消毒する場合は、2 % の過酸化水素水、または 75 % の医療用エタノールに約 10 分間浸す。
または、2 % の過酸化水素水、または 75 % の医療用エタノールをつけた医療用ガーゼで拭いて消毒する。
- (2) 消毒後、全ての部品を蒸留水で洗浄し、清潔で殺菌済の医療用ガーゼで拭いて乾燥させる。
- (3) 洗浄、乾燥後は本体、薬液カップ及び付属品を収納ケースに入れて保管する。

- ・煮沸消毒したり、ベンジン、シンナー、次亜塩素酸ナトリウム溶液は使用できません。
- ・本品内部に液体が入らないように注意する。
- ・本品が完全に乾くまでは使用しない。

＜使用者による保守点検＞

- ・常に使用前後の点検を励行し、異常が認められたときには、すぐに使用を中止する。
- ・本体、薬液カップや付属品は常に清潔に保つ。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：株式会社カスタム
電話番号：03-3255-1117

製造業者：Feellife Health Inc. （フィールライフヘルス社）
輸入先国：中国

取扱説明書を必ずご参照ください

取扱説明書を必ずご参照ください